

令和5年度

学生によるオレンジリボン運動

椋山女学園大学 実施報告書



実施主体 椋山女学園大学 恐教育学部有志

実施内容 名古屋市千種区役所オレンジリボン啓発コーナーおよび大学祭での啓発活動

① 事前に取り組んだ内容

標語の応募に際して、児童虐待防止全国ネットワークのHP等を見るなどして、各自が児童虐待防止やオレンジリボンについて知識を深めた。初めてオレンジリボンのことを知る学生もあり、保育者として今後どのように児童虐待という問題へかかわっていくか考える機会とした。

② 実施期間に取り組んだ具体的内容

名古屋市では、条例により毎年5月と11月を「児童虐待防止推進月間」と定めており、その2回千種区役所あじさい広場へ児童虐待防止への理解を深めるパネルの作成・展示を行った。オレンジリボン啓発のため令和5年度「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」へ標語を応募した。(千種区役所)11月には、千種区の児童虐待防止啓発標語の入賞者の標語にあったポスターを作成し1年間の児童虐待防止標語として使用された。大学祭では、子ども向けブースにポスターの掲示と理解度を調査した。

③ オレンジリボン運動を終えて…

今年度本学の学生が応募した標語「あなたしか 気づいてないかも そのサイン」が令和5年度「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」最優秀作品(内閣府特命担当大臣賞)を受賞した。それにともない名古屋市のシンボルタワーである中部電力MIRAI TOWERのオレンジリボン啓発ライトアップに合わせて標語も映し出された。

ポスター作成には、標語の思いも聞きながら市民の方に興味を持ってみていただけるように親しみやすい啓発パネルを作成したり、啓発コーナーに、オレンジリボンや虐待に関する認知度などをシールで貼っていただくコーナーを作り、今後啓発していくにはどのようにしたらよいか考えるきっかけとなった。

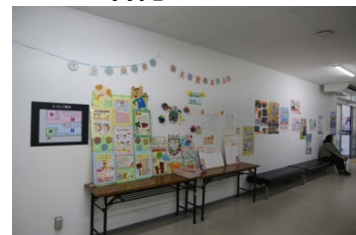
5月



11月



啓発コーナー



【椋山女学園大学】 <https://www.sugiyama-u.ac.jp/>

